

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日		化学療法委員会承認年月	平成 25 年 9 月
登録診療科	内科	申請医師			
レジメン名	ドキシルピシン単剤(肉腫)				
疾患名	肉腫(軟部腫瘍)				
適応分類		適応の備考			
1コース日数	21 日間	総コース数	コース	催吐性リスク	中等度
抗がん剤投与量・投与日 ドキシルピシン25mg/m ² day1-3					
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)					

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	(day)																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	生食20mL	1 本 / body		●	●	●																		
	中心静脈注射																								
2	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●																				
	中心静脈注射	プロイメント注150mg	1 本 / body	30 分	●																				
3	主ルート	アロキシ注バッグ0.75mg	1 本 / body		●																				
	中心静脈注射	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分	●																				
		デキサート注1.65mg	1 本 / body		●																				
4	主ルート	生食100mL	1 本 / body			●	●																		
	中心静脈注射	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分		●	●																		
		デキサート注1.65mg	1 本 / body			●	●																		
5	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●	●	●																		
	中心静脈注射	ドキシルピシン注	25 mg / m ²		●	●	●																		
6	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●	●	●																		
7	経口投与	デカドロン錠	8 mg / body					●	●	●															

【投与上の注意】

- ・day1-3のデキサート注は、6.6mgでもよい。
- ・day6のデカドロン錠は、状況に応じて投与の可否を選択できる。
- ・デキサメタゾンを経口的に使用できない場合は、デキサメタゾンday4-6の代わりに5HT3受容体拮抗薬day4-6を追加する。
- ・プロイメントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
- ・プロイメントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
- ・day3以降のデキサメタゾンは増量が必要(day1・2を減量しているため)。
- ・プロイメントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。

